

土地改良施設等を活用したCO₂ネットゼロヴィレッジ

再生可能エネルギーの地産地消を推進し、環境にこだわった農村地域「滋賀県CO₂ネットゼロヴィレッジ」の実現を目指します。

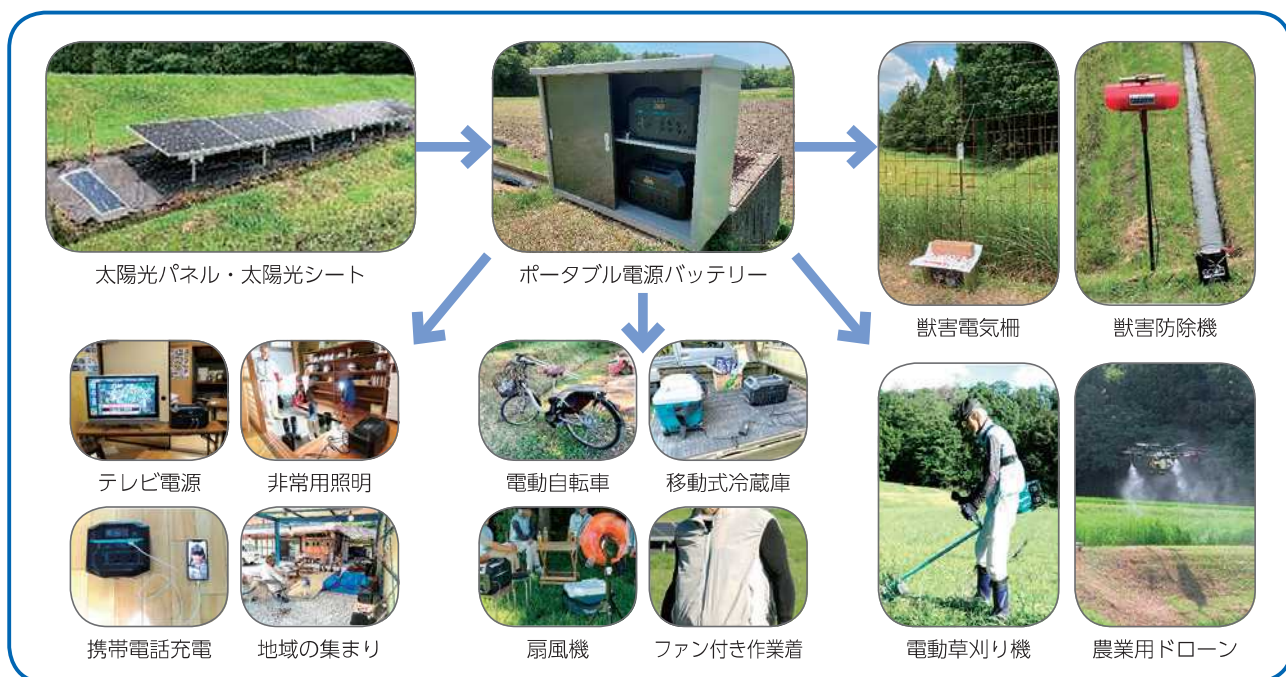
近年高騰するエネルギー価格やひっ迫するエネルギー需要、また、激甚化する災害やCO₂排出量削減にも対応するため、地域内でエネルギーを地産地消していく地域づくり「CO₂ネットゼロヴィレッジ」の推進が求められています。

そこで、農村地域のもつ「人」「場所」「エネルギー資源」を効果的に活用し、地域の課題を解決しながら、再生可能エネルギーの面的な利用と地域レジリエンス向上を目指す「**滋賀県CO₂ネットゼロヴィレッジ構想**」を策定し、環境にこだわった持続可能な農村地域の実現に向けて取り組んでまいります。



「滋賀県CO₂ネットゼロヴィレッジ構想」の実現に向けた取組

山間地の農村地域においては農地法面の草刈が農業者の負担となっています。そのような農地法面に太陽光パネルを設置することで、草刈りなど維持管理負担の軽減を図るとともに発電した電力は草刈り機や獣害柵などの農業用機器に利用されています。また、地域行事や災害時の独立電源として利用するなど、農業分野だけでなく生活分野でも利用され、地域に根付いた再生可能エネルギーの地産地消が実践されています。



日野町西明寺地域での取組